

Core to Core プログラム 出張報告書

【出張者】

足立ちひろ

早稲田大学先進理工学研究科 生命医科学専攻

井上研究室 博士1年

【訪問先】

Matrix Building Level 2, Biopolis, Singapore 138671

Singapore polytechnic, T11A 4F

【概要】

2018年10月23日：日本からシンガポールへ移動

- ・タイ・バンコク経由で現地時刻20時頃にシンガポール、チャンギ国際空港へ到着。その後、ホテル81プレミアスターに到着。

2018年10月24日：Health Promotion through Food Science, Chrono-nutrition and Sports に参加

- ・午前中に WABIOS にてポスター発表を行い、午後より Matrix building にて開催されたシンポジウムに参加し研究発表を聴講。

2018年10月25日：Biotechnology Towards Next Generation Single Cell Analysis に参加

- ・Polytechnic にて開催されたシンポジウムに参加し、研究発表の聴講並びに口頭発表を行った。

シンガポールより日本へ移動

2018年10月26日：日本着

【交流総括】

10月24日に参加した Health Promotion through Food Science, Chrono-nutrition and Sports シンポジウムでは午前中にポスター発表を行い、午後はシンポジウムにて様々な研究をおこなっている方々の研究発表を聴講した。ポスター発表では WABIOS の学生さんに興味をもっていただけで研究内容の説明などを行った。英語での研究内容説明では細かいところなど説明しきれない部分があることを痛感し、英語での発表に備えて語学力の向上を図る必要性を強く感じた。午後から参加したシンポジウムでは教授陣による発表や学生による口頭発表を聴講した。普段の研究内容は基礎研究であるため細かいところを見るような姿勢を取りがちだが、今回のシンポジウムではどちらかというと社会実装を目指した応用研究が多く研究の組み立ての違いを強く感じた。

10月25日には Biotechnology Towards Next Generation Single Cell Analysis シンポジウ

ムに参加し、シンポジウムを聴講するとともに口頭発表を行った。1細胞を観察するにあたって新しく開発された方法やプローブなどの研究発表が多く、イメージングを普段からおこなっている私としてはとてもわくわくするような発表が多く、学びが多かった。口頭発表では質問をいくつかいただくことができ、今後の研究の指針となった。休憩時間などにはシンガポールの研究者の方とお話するタイミングがあり、シンガポールと日本での研究の違いや暮らしの違いなどを知る良い機会となった。

【謝辞】

本出張は Core to core プログラムによる経済的援助により、実現いたしました。この場を借りて、御礼申し上げます。